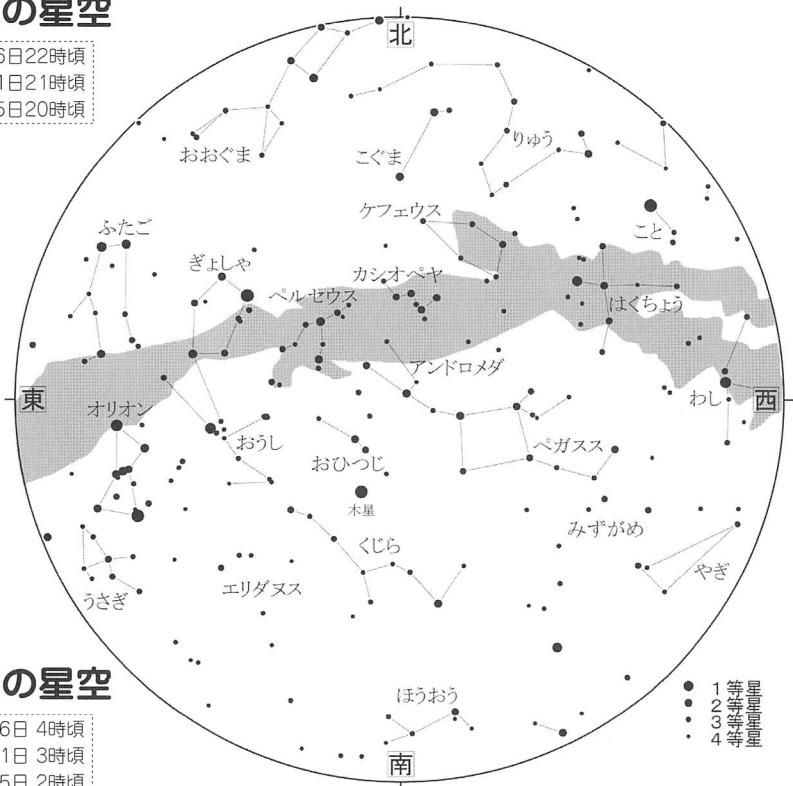




★星空ガイド 11月16日～12月15日

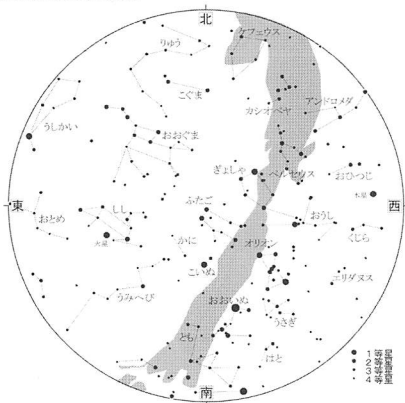
よいの星空

11月16日22時頃
12月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

11月16日4時頃
12月1日3時頃
15日2時頃



【太陽と月の出入(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
11	16	水	6:31	16:53	21:27	10:44	20.3
	21	月	6:36	16:50	1:43	13:41	25.3
	26	土	6:41	16:48	7:33	17:41	0.9
12	1	木	6:46	16:47	11:23	22:56	5.9
	6	火	6:50	16:47	13:50	2:38	10.9
	11	日	6:54	16:47	17:24	7:11	15.9
	15	木	6:57	16:48	21:25	10:00	19.9

※惑星は2011年12月1日の位置です。

<皆既月食>

12月10日、今年2回目の皆既月食が起こります。月食とは、月が地球の影の中に入り欠けてゆく現象です。欠け始めは21:45、すべて地球の影に入る皆既となるのは23:05から23:57、食の終わりは翌日の1:18です。少し遅い時間帯となりますが、翌日は日曜日ですので、夜更かし出来る方も多いかと思います。

月食の時間帯、月は南の空高いところに見えています。特に皆既の頃の高度は80度近くになりますから、ほぼ頭の真上に見えることになります。

最初から最後まで見ると、3時間半かかります。寒い季節となりますので、厚着をして観測しましょう。

今年6月の月食は、全国的に曇りで見えなかった地方が多かったのですが、今回は晴れることを期待しましょう。

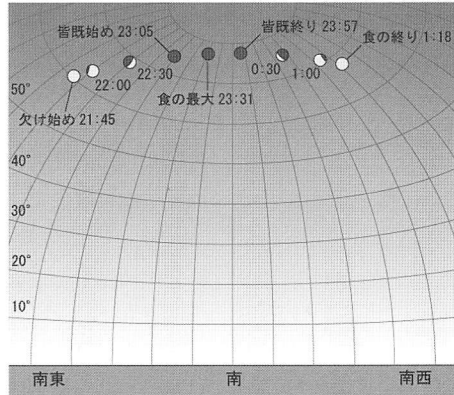
なお、次回大阪で月食が見られるのは、部分月食なら2012年6月4日、皆既月食は2014年10月8日となります。

<ふたご座流星群>

12月14日から15日にかけて、ふたご座流星群が極大になります。この流星群は毎年1時間あたり20～30個程度の安定した数の流れ星が流れます。放射点が日の入りとともに東の空に現れることから、ほぼ一晩中流れ星を見ることが出来ます。ただし今年は満月過ぎの月がほぼ一晩中見えていることから、観測条件がかなり悪いのが残念です。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
11	19	土	●下弦(0時)/月と火星、レグルスがならぶ(明け方)
	24	木	月が最近(359691km)
	25	金	●新月(15時)/南極で部分日食
	27	日	イスラム暦1433年年初月と金星がならぶ
	30	水	土星とスピカがならぶ(明け方)
12	2	金	●上弦(19時)
	4	日	水星が内合



大阪での月食のようす

月	日	曜	主な天文現象など
12	6	火	月が最遠(405141km) 月と木星がならぶ
	7	水	大雪
	8	木	火星が西矩
	9	金	月とすばる、アルデランがならぶ
	10	土	○満月(24時) 皆既月食
	14	水	ふたご座流星群が極大(20時)

江越 航(科学館学芸員)